

## 令和 6 年度自己点検・評価結果について

2025 年 3 月 13 日

評価委員会

### 1. 根拠規定、実施方法等

大学は、学校教育法第 109 条により自己点検・評価を行うこととされており、本学においても「国立大学法人総合研究大学院大学評価規則」にて実施体制及び実施方法が定められている。当該規則第 6 に基づき、認証評価機関が定める大学評価基準等を勘案した評価項目について、以下のとおり自己点検・評価を実施した（詳細は別紙参照）。

#### ○ 学術情報基盤センター運営委員会（2024 年 12 月 13 日～23 日）

対象： 施設・設備に係るもののうち、I C T環境に係るもの  
領域・基準：領域 4（基準 4-1）

#### ○ 附属図書館運営委員会（2024 年 12 月 13 日～23 日）

対象： 施設・設備に係るもののうち、附属図書館に係るもの  
領域・基準：領域 4（基準 4-1）

#### ○ 財務・マネジメント委員会（2025 年 1 月 14 日）

対象： 施設・設備に係るもの（I C T環境、附属図書館及び各基盤機関の施設・設備に係るものを除く。）  
領域・基準：領域 4（基準 4-1）

#### ○ 入試監理委員会（2025 年 2 月 3 日～7 日）

対象： 学生受入に係るもの  
領域・基準：領域 5（基準 5-1 ～ 5-3）

#### ○ 学生支援委員会（2025 年 2 月 3 日～7 日）

対象： 学生支援に係るもの  
領域・基準：領域 4（基準 4-2）

#### ○ 各コース（2024 年 10 月下旬～12 月下旬）

対象： 施設・設備に係るもののうち、各基盤機関の施設・設備に係るもの、並びに、先端学術院の教育課程に係るもの  
領域・基準：領域 4（基準 4-1）、領域 6

- 評価実施委員会（2025 年 2 月 19 日）  
対象： 先端学術院の教育課程に係るもの  
領域・基準： 領域 6（全基準）
  
- 評価委員会（2025 年 3 月 6～13 日）  
対象： 全学の自己点検・評価  
領域・基準： 領域 1～領域 6（全基準）

## 2. 自己点検・評価の結果

すべての領域について、基準を満たしていると評価した。

ただし、「大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること」（基準 6-7）については、一部コースにおいて、コースとしての学位論文評価基準が策定されていないことから、策定のうえ学生へ周知する必要がある旨、確認された。

以上

## 領域 1 教育研究上の基本組織に関する基準

| 基準                                            | 分析項目                                                                                                                                                                                   | 改善を要する事項 | 基準にかかる判断 |
|-----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------|
| 基準1-1 教育研究上の基本組織が、大学等の目的に照らして適切に構成されていること     | 〔分析項目 1－1－1〕<br>学部及びその学科並びに研究科及びその専攻の構成（学部、学科以外の基本的組織を設置している場合は、その構成）が、大学及びそれぞれの組織の目的を達成する上で適切なものとなっていること                                                                              |          | 基準を満たす   |
| 基準 1－2 教育研究活動等の展開に必要な教員が適切に配置されていること          | 〔分析項目 1－2－1〕<br>大学設置基準等各設置基準に照らして、必要な人数の教員を配置していること<br>〔分析項目 1－2－2〕<br>教員の年齢及び性別の構成が、著しく偏っていないこと                                                                                       |          | 基準を満たす   |
| 基準 1－3 教育研究活動等を展開する上で、必要な運営体制が適切に整備され機能していること | 〔分析項目 1－3－1〕<br>教員の組織的な役割分担の下で、教育研究に係る責任の所在が明確になっていること<br>〔分析項目 1－3－2〕<br>教授会等が、教育活動に係る重要事項を審議するための必要な活動を行っていること<br>〔分析項目 1－3－3〕<br>全学的見地から、学長若しくは副学長の下で教育研究活動について審議し又は実施する組織が機能していること |          | 基準を満たす   |

## 領域 2 内部質保証に関する基準

| 基準                                     | 分析項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 改善を要する事項 | 基準にかかる判断 |
|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------|
| 基準 2－1 【重点評価項目】内部質保証に係る体制が明確に規定されていること | 〔分析項目 2－1－1〕<br>大学等の教育研究活動等の質及び学生の学習成果の水準について、継続的に維持、向上を図ることを目的とした全学的な体制（以下「機関別内部質保証体制」という。）を整備していること<br>〔分析項目 2－1－2〕<br>それぞれの教育研究上の基本組織が、教育課程について責任をもつように質保証の体制が整備されていること<br>〔分析項目 2－1－3〕<br>施設及び設備、学生支援並びに学生の受入に関して質保証について責任をもつ体制を整備していること<br>〔分析項目 2－1－4〕<br>研究活動、地域貢献活動又は教育の国際化の組織的取組が行われている場合には、その質保証について責任をもつ体制を整備していること（より望ましい取組として分析） |          | 基準を満たす   |

|                                                                          |                                                                                                                                                                                                               |  |        |
|--------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------|
| 基準 2 - 2 【重点評価項目】内部質保証のための手順が明確に規定されていること                                | <p>〔分析項目 2 - 2 - 1〕</p> <p>それぞれの教育課程について、以下の事項を機関別内部質保証体制が確認する手順を有していること</p> <p>(1) 学位授与方針が大学等の目的に則して定められていること</p> <p>(2) 教育課程方針が大学等の目的及び学位授与方針と整合性をもって定められていること</p> <p>(3) 学習成果の達成が授与する学位に相応しい水準になっていること</p> |  | 基準を満たす |
|                                                                          | <p>〔分析項目 2 - 2 - 2〕</p> <p>教育課程ごとの点検・評価において、領域 6 の各基準に照らした判断を行うことが定められていること</p>                                                                                                                               |  |        |
|                                                                          | <p>〔分析項目 2 - 2 - 3〕</p> <p>施設及び設備、学生支援、学生の受入に関して行う自己点検・評価の方法が明確に定められていること</p>                                                                                                                                 |  |        |
|                                                                          | <p>〔分析項目 2 - 2 - 4〕</p> <p>機関別内部質保証体制において、関係者（学生、卒業（修了）生、卒業（修了）生の主な雇用者等）から意見を聴取する仕組みを設けていること</p>                                                                                                              |  |        |
|                                                                          | <p>〔分析項目 2 - 2 - 5〕</p> <p>機関別内部質保証体制において共有、確認された自己点検・評価結果（設置計画履行状況等調査において付される意見等、監事、会計監査人からの意見、外部者による意見及び当該自己点検・評価を基に受審した第三者評価の結果を含む。）を踏まえた対応措置について検討、立案、提案する手順が定められていること</p>                                |  |        |
|                                                                          | <p>〔分析項目 2 - 2 - 6〕</p> <p>機関別内部質保証体制において承認された計画を実施する手順が定められていること</p>                                                                                                                                         |  |        |
| 基準 2 - 3 【重点評価項目】内部質保証が有効に機能していること                                       | <p>〔分析項目 2 - 3 - 1〕</p> <p>自己点検・評価の結果を踏まえて決定された対応措置の実施計画に対して、計画された取組が成果を上げていること、又は計画された取組の進捗が確認されていること、あるいは、取組の計画に着手していることが確認されていること</p>                                                                      |  | 基準を満たす |
|                                                                          | <p>〔分析項目 2 - 3 - 2〕</p> <p>機関別内部質保証体制の中で、点検に必要な情報を体系的、継続的に収集、分析する取組を組織的に行っており、その取組が効果的に機能していること（より望ましい取組として分析）</p>                                                                                            |  |        |
|                                                                          | <p>〔分析項目 2 - 3 - 3〕</p> <p>機関別内部質保証体制の中で、学生・卒業生を含む関係者からの意見を体系的、継続的に収集、分析する取組を組織的に行っており、その意見を反映した取組を行っていること（より望ましい取組として分析）</p>                                                                                 |  |        |
|                                                                          | <p>〔分析項目 2 - 3 - 4〕</p> <p>質保証を行うに相応しい第三者による検証、助言を受け、内部質保証に対する社会的信頼が一層向上している状況にあること（より望ましい取組として分析）</p>                                                                                                        |  |        |
| 基準 2 - 4 教育研究上の基本組織の新設や変更等重要な見直しを行うにあたり、大学としての適切性等に関する検証が行われる仕組みを有していること | <p>〔分析項目 2 - 4 - 1〕</p> <p>学部又は研究科その他教育研究上の組織の新設・改廃等の重要な見直しを行うにあたり、機関別内部質保証体制で当該見直しに関する検証を行う仕組みを有していること</p>                                                                                                   |  | 基準を満たす |

|                                                               |                                                                                                      |  |        |
|---------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------|
| 基準 2 - 5 組織的に、教員の質及び教育研究活動を支援又は補助する者の質を確保し、さらにその維持、向上を図っていること | [分析項目 2 - 5 - 1]<br>教員の採用及び昇格等にあって、教育上、研究上又は実務上の知識、能力及び実績に関する判断の方法等を明確に定め、実際にその方法によって採用、昇格させていること    |  | 基準を満たす |
|                                                               | [分析項目 2 - 5 - 2]<br>教員の教育活動、研究活動及びその他の活動に関する評価を継続的に実施していること                                          |  |        |
|                                                               | [分析項目 2 - 5 - 3]<br>評価の結果、把握された事項に対して評価の目的に則した取組を行っていること                                             |  |        |
|                                                               | [分析項目 2 - 5 - 4]<br>授業の内容及び方法の改善を図るためのファカルティ・ディベロップメント（F D）を組織的に実施していること                             |  |        |
|                                                               | [分析項目 2 - 5 - 5]<br>教育活動を展開するために必要な教育支援者や指導補助者（教育補助者）が配置され、それらの者が適切に活用されていること                        |  |        |
|                                                               | [分析項目 2 - 5 - 6]<br>教育活動を展開するために必要な教育支援者や指導補助者（教育補助者）が担当する業務に応じて、研修の実施など必要な質の維持、向上を図る取組を組織的に実施していること |  |        |

### 領域 3 財務運営、管理運営及び情報の公表に関する基準

| 基準                                                                   | 分析項目                                                                         | 改善を要する事項 | 基準にかかる判断 |
|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|----------|----------|
| 基準 3 - 1 財務運営が大学等の目的に照らして適切であること                                     | [分析項目 3 - 1 - 1]<br>毎年度、財務諸表等について法令等に基づき必要な手続きを経ていること                        |          | 基準を満たす   |
|                                                                      | [分析項目 3 - 1 - 2]<br>教育研究活動に必要な予算を配分し、経費を執行していること                             |          |          |
| 基準 3 - 2 管理運営のための体制が明確に規定され、機能していること                                 | [分析項目 3 - 2 - 1]<br>大学の管理運営のための組織が、適切な規模と機能を有していること                          |          | 基準を満たす   |
|                                                                      | [分析項目 3 - 2 - 2]<br>法令遵守に係る取組及び危機管理に係る取組のための体制が整備されていること                     |          |          |
| 基準 3 - 3 管理運営を円滑に行うための事務組織が、適切な規模と機能を有していること                         | [分析項目 3 - 3 - 1]<br>管理運営を円滑に行うための事務組織が、適切な規模と機能を有していること                      |          | 基準を満たす   |
| 基準 3 - 4 教員と事務職員等との役割分担が適切であり、これらの者の間の連携体制が確保され、能力を向上させる取組が実施されていること | [分析項目 3 - 4 - 1]<br>教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること                     |          | 基準を満たす   |
|                                                                      | [分析項目 3 - 4 - 2]<br>管理運営に従事する教職員の能力の質の向上に寄与するため、スタッフ・ディベロップメント（S D）を実施していること |          |          |

|                                           |                                                             |  |        |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|--|--------|
| 基準 3 - 5 財務及び管理運営に関する内部統制及び監査の体制が機能していること | 〔分析項目 3 - 5 - 1〕<br>監事が適切な役割を果たしていること                       |  | 基準を満たす |
|                                           | 〔分析項目 3 - 5 - 2〕<br>法令の定めに従って、会計監査人による監査が実施されていること          |  |        |
|                                           | 〔分析項目 3 - 5 - 3〕<br>独立性が担保された主体により内部監査を実施していること             |  |        |
|                                           | 〔分析項目 3 - 5 - 4〕<br>監事を含む各種の監査主体と大学の管理運営主体との間で、情報共有を行っていること |  |        |
| 基準 3 - 6 大学の教育研究活動等に関する情報の公表が適切であること      | 〔分析項目 3 - 6 - 1〕<br>法令等が公表を求める事項を公表していること                   |  | 基準を満たす |

#### 領域 4 施設及び設備並びに学生支援に関する基準

| 基準                                                 | 分析項目                                                                                                                                   | 改善を要する事項 | 基準にかかる判断 |
|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------|
| 基準 4 - 1 教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること | 〔分析項目 4 - 1 - 1〕<br>教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備を法令に基づき整備していること                                                                               |          | 基準を満たす   |
|                                                    | 〔分析項目 4 - 1 - 3〕<br>施設・設備における安全性について、配慮していること                                                                                          |          |          |
|                                                    | 〔分析項目 4 - 1 - 4〕<br>教育研究活動を展開する上で必要な I C T 環境を整備し、それが有効に活用されていること                                                                      |          |          |
|                                                    | 〔分析項目 4 - 1 - 4〕<br>教育研究活動を展開する上で必要な I C T 環境を整備し、それが有効に活用されていること                                                                      |          |          |
|                                                    | 〔分析項目 4 - 1 - 5〕<br>大学組織の一部としての図書館において、教育研究上必要な資料を利用可能な状態に整備し、有効に活用されていること                                                             |          |          |
|                                                    | 〔分析項目 4 - 1 - 6〕<br>自習室、グループ討議室、情報機器室、教室・教育設備等の授業時間外使用等による自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されていること                                                |          |          |
|                                                    | 〔分析項目 4 - 1 - 7〕<br>研究成果を継続的に生み出すための研究環境が十分に整備され、効果的に利用されていること(より望ましい取組として分析)                                                          |          |          |
|                                                    | 〔分析項目 4 - 1 - 8〕<br>教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備が、社会からの期待に対応して行う活動（例えば、公開講座・履修、大学図書館の一般市民利用、技術相談、学習機会としての社会貢献活動）に効果的に利用されていること（より望ましい取組として分析） |          |          |

|                                                        |                                                                                     |  |        |
|--------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--|--------|
| 基準 4－2 学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること | [分析項目 4－2－1]<br>学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制を整備していること            |  | 基準を満たす |
|                                                        | [分析項目 4－2－2]<br>学生の部活動や自治会活動等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行っていること                          |  |        |
|                                                        | [分析項目 4－2－3]<br>留学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること                             |  |        |
|                                                        | [分析項目 4－2－4]<br>障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること |  |        |
|                                                        | [分析項目 4－2－5]<br>学生に対する経済面での援助を行っていること                                               |  |        |

#### 領域 5 学生の受入に関する基準

| 基準                                | 分析項目                                                                                 | 改善を要する事項 | 基準にかかる判断 |
|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------|
| 基準 5－1 学生受入方針が明確に定められていること        | [分析項目 5－1－1]<br>学生受入方針において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること                        |          | 基準を満たす   |
| 基準 5－2 学生の受入が適切に実施されていること         | [分析項目 5－2－1]<br>学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施していること                            |          | 基準を満たす   |
|                                   | [分析項目 5－2－2]<br>学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てていること |          |          |
| 基準 5－3 実入学者数が入学定員に対して適正な数となっていること | [分析項目 5－3－1]<br>実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと                               |          | 基準を満たす   |

#### 領域 6 教育課程と学習成果に関する基準

| 基準                             | 分析項目                                                                                                                | 改善を要する事項 | 基準にかかる判断 |
|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------|
| 基準 6－1 学位授与方針が具体的かつ明確であること     | [分析項目 6－1－1]<br>学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること                                                                |          | 基準を満たす   |
| 基準 6－2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること | [分析項目 6－2－1]<br>教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること |          | 基準を満たす   |
|                                | [分析項目 6－2－2]<br>教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること                                                                           |          |          |

|                                                                 |                                                                                                                                                       |  |        |
|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------|
| 基準 6 - 3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること | <p>〔分析項目 6 - 3 - 1〕<br/>教育課程の編成が、体系性を有していること</p>                                                                                                      |  | 基準を満たす |
|                                                                 | <p>〔分析項目 6 - 3 - 2〕<br/>授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること</p>                                                                                            |  |        |
|                                                                 | <p>〔分析項目 6 - 3 - 3〕<br/>他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合は、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること</p>                                                 |  |        |
|                                                                 | <p>〔分析項目 6 - 3 - 4〕<br/>大学院課程（専門職学位課程を除く。）においては、学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む。）の作成等に係る指導（以下「研究指導」という。）に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること</p> |  |        |
|                                                                 | <p>〔分析項目 6 - 3 - 5〕<br/>専門職大学院又は専門職学科を設置している場合には、法令に則して、教育課程が編成されるとともに、教育課程連携協議会を運用していること</p>                                                         |  |        |
| 基準 6 - 4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること             | <p>〔分析項目 6 - 3 - 6〕<br/>連携法曹基礎課程を設置している場合は、法令に則して、教育課程が編成されていること</p>                                                                                  |  | 基準を満たす |
|                                                                 | <p>〔分析項目 6 - 4 - 1〕<br/>1 年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること</p>                                                                                       |  |        |
|                                                                 | <p>〔分析項目 6 - 4 - 2〕<br/>各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果を上げていること</p>          |  |        |
|                                                                 | <p>〔分析項目 6 - 4 - 3〕<br/>適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること</p>                                                                              |  |        |
| 基準 6 - 5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること                         | <p>〔分析項目 6 - 4 - 4〕<br/>教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること</p>                                                                                    |  | 基準を満たす |
|                                                                 | <p>〔分析項目 6 - 5 - 1〕<br/>学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること</p>                                                                                |  |        |
|                                                                 | <p>〔分析項目 6 - 5 - 2〕<br/>学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること</p>                                                                                     |  |        |
|                                                                 | <p>〔分析項目 6 - 5 - 3〕<br/>社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること</p>                                                                                        |  |        |
|                                                                 | <p>〔分析項目 6 - 5 - 4〕<br/>障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること</p>                                                                        |  |        |
|                                                                 | <p>〔分析項目 6 - 5 - 5〕<br/>正規学生が海外で学習する機会を提供し、有効に活用されていること（より望ましい取組として分析）</p>                                                                            |  |        |

|                                                 |                                                                                                          |                                                         |        |
|-------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|--------|
| 基準 6－6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること     | <p>〔分析項目 6－6－1〕<br/>成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること</p>                 |                                                         | 基準を満たす |
|                                                 | <p>〔分析項目 6－6－2〕<br/>成績評価基準を学生に周知していること</p>                                                               |                                                         |        |
|                                                 | <p>〔分析項目 6－6－3〕<br/>成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること</p>                       |                                                         |        |
|                                                 | <p>〔分析項目 6－6－4〕<br/>成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること</p>                                                        |                                                         |        |
| 基準 6－7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること | <p>〔分析項目 6－7－1〕<br/>大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること</p>                      |                                                         | 基準を満たす |
|                                                 | <p>〔分析項目 6－7－2〕<br/>大学院課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準（以下「学位論文評価基準」という。）を組織として策定していること</p> | 一部コースにおいて、コースとしての学位論文評価基準が策定されていないため、策定のうえ学生へ周知する必要がある。 |        |
|                                                 | <p>〔分析項目 6－7－3〕<br/>策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む。）を学生に周知していること</p>                                           |                                                         |        |
|                                                 | <p>〔分析項目 6－7－4〕<br/>卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む。）に則して組織的に実施していること</p>                                |                                                         |        |
|                                                 | <p>〔分析項目 6－7－5〕<br/>専門職学科を設置している場合は、法令に則して卒業要件が定められていること</p>                                             |                                                         |        |
| 基準 6－8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること      | <p>〔分析項目 6－8－1〕<br/>標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること</p>       |                                                         | 基準を満たす |
|                                                 | <p>〔分析項目 6－8－2〕<br/>就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること</p>                             |                                                         |        |
|                                                 | <p>〔分析項目 6－8－3〕<br/>卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること</p>                          |                                                         |        |
|                                                 | <p>〔分析項目 6－8－4〕<br/>卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること</p>         |                                                         |        |
|                                                 | <p>〔分析項目 6－8－5〕<br/>就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること</p>                                |                                                         |        |
|                                                 | <p>〔分析項目 6－8－6〕<br/>教育の国際化の優れた取組により、その取組の目的に則した学習成果の向上が図られていること(より望ましい取組として分析)</p>                       |                                                         |        |